

「当院で同定された *Haemophilus influenzae* の薬剤感受性に関わる遺伝子の網羅的解析」のお願いとお知らせ

インフルエンザ桿菌(*Haemophilus influenzae*)は成人の肺炎だけでなく、小児の髄膜炎・敗血症を引き起こす病原体です(冬季に流行するインフルエンザとは異なる病原体です)。健常者でも感染する可能性があります。適切な抗菌薬を用いれば治療できますが、近年抗菌薬の不適切な使用により、薬剤耐性化が進んでいます。

1. 研究の対象

本研究では、2010年1月1日から2016年3月31日までの間に、当院外来または入院診療において細菌検査を実施された患者さんが対象となります。

2. 研究目的・方法

細菌検査において、インフルエンザ桿菌が検出された場合、その遺伝子を抽出・解析することで、薬剤耐性に関する新たな情報を得ることを目的としています。

なお、研究結果については学会発表や学術雑誌などでの報告を予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は、各種の細菌検査(喀痰・血液等)で検出されたインフルエンザ桿菌のうち、検査終了後廃棄されるべき菌体の一部を利用するため、研究のために新たに患者さんから検体を採取したり、検査を追加することはありません。

また、患者さんの診療情報については、個人情報とは無関係な番号付与による匿名化によって管理いたします。菌株に関する情報(採取部位・耐性情報等)を利用いたしますが、患者さんの診療情報および患者さんの氏名・生年月日等の個人を特定する情報は利用いたしません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先：防衛医科大学校病院 内科学(感染症・呼吸器) 三沢和央

住所：〒359-0042 埼玉県所沢市並木3-2

TEL : 04-2995-1211

内線 : 2762 (PHS 5558)